

同志社大学 良心学研究センター主催 公開シンポジウム

後援：国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所



難民問題

世界の良心に呼びかける

世界の各地で、紛争や迫害によって故郷を離れざるを得なくなった人々がこれまでもいましたが、近年、シリア難民を中心にその数が急増しています。難民の受け入れをめぐる、ヨーロッパ各国は対立し、新たな排外主義的勢力の台頭も目立っています。いまだ解決の糸口さえ見えない難題に対し、どのように向き合っていけばよいのでしょうか。本シンポジウムでは難民問題の現状を踏まえながら、多角的にこの問題を考えていきたいと思えます。

● 日時：2016年 **6** 月 **14** 日（火）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス

同志社礼拝堂

● 講演：



小尾尚子（国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所副代表）

司会：小原 克博（同志社大学 神学部 教授、良心学研究センター長）

コメンテーター：

内藤 正典（同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科 教授）

ハルドゥーン・フセイン（同志社大学大学院 神学研究科 博士後期課程）

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>



良心を世界に一良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

講師略歴

小尾 尚子（おび なおこ）

国際基督教大学行政学研究科(国際法・国際機構論)博士号。1987年より UNHCR に勤務。ケニア、フィリピン、タイなどの UNHCR(地域)事務所、及びスイス・ジュネーブの本部で上級法務官、上級政策オフィサー、国際保護局コミュニティ開発、女性、子どもの保護、ジェンダーの平等担当課長として勤務。

2012年より UNHCR 駐日事務所副代表（法務担当）

©UNHCR

講演内容

- ・世界の難民問題の現状
- ・難民とはどのような人たちか
- ・難民問題に対する国際社会の取組
- ・日本ができることは何か

良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

- 6月21日（火）16:40-18:30、京田辺キャンパス 言館チャペル

「自然科学と新島襄」

【講師】大鉢 忠（同志社大学 理工学部 名誉教授）

【コメンテーター】和田 元（同志社大学 理工学部 教授）、林田 明（同志社大学 理工学部 教授）

- 7月16日（土）13:00-15:00、今出川キャンパス 神学館3階 礼拝堂

「キリスト教主義大学における建学の精神——関西学院大学における取り組み」

【講師】神田 健次（関西学院大学 神学部教授）

【コメンテーター】横井 和彦（同志社大学 経済学部 教授、キリスト教文化センター長）

原 誠（同志社大学 神学部 教授）

※良心学研究センターが主催した過去のシンポジウムの配付資料や動画は、すべてウェブサイト (<http://ryoshin.doshisha.ac.jp>) や YouTube で公開されています。ぜひ、ご覧ください。